



朝倉市・東峰村を巡る

参加校
募集中

防災学習プログラム

朝倉グリーンツーリズム協議会では、小学生・中学生向けの防災学習プログラムを実施しており、参加校を募集しています。平成29年7月、九州北部豪雨により大きな被害を受けた朝倉市、東峰村。災害はいつどこで起きるか分かりません。もし、災害が起きたらどうすればいいのか。災害を身近に感じてもらうことが、まず重要です。実際に復旧・復興現場を訪れ、被災者の体験談に触れ、災害について考えてみませんか。



詳細や問合せ先につきましては、裏面を御覧ください。

ポイント1

災害にあった学校や現場を
実際に見ながら学習できます。

ポイント2

被災した地域の方から
直接当時のお話を聞けます。

ポイント3

もし自分が被災した時
どうすればいいのか
考えることができます。

石詰地区 (所要時間：20分)



豪雨当時の状況や避難した時の様子、自宅が濁流に流されてしまったことやヘリコプターで救出されるまでの生々しい貴重な経験についてお話しします。

(旧)松末小学校 (所要時間：30分～1時間)



平成29年7月九州北部豪雨当時の動画やパネルを使用して、一瞬にして水かさが増していく様子や土石流の勢い、小学校で一夜を過ごした際の恐ろしい状況についてお話しします。また、命を守ることに繋がったとっさの判断や、被災後の苦労話、体育館の復旧に至るまでの道のりについて説明します。

東峰村災害伝承館 (所要時間：30分)



災害伝承館は、災害の記録を保存し、災害を風化させないこと、そして後世に災害を伝えることを目的として、九州大学災害調査・復旧・復興支援団の協力により開設されました。災害当時の写真や映像、資料などを見ながら災害時や災害後に取り組まれた活動について説明します。

東林田地区 (所要時間：30分)



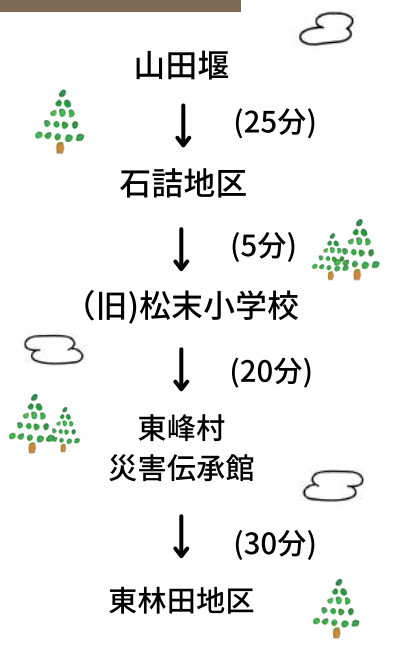
災害直後、情報の錯さうによりボランティアの配置や物資の適材箇所への供給、メディアへの対応など様々な問題が発生しました。その当時の状況や避難時の問題解決について、災害現場で説明します。復興状況も見学できます。

山田堰 (所要時間：50分)



干ばつや洪水の対策として江戸時代に作られ、昭和28年大洪水と平成29年九州北部豪雨災害をうけても壊れることがなかった井堰。江戸時代からの原形を留めているこの優れた技術は、故・中村哲医師によってアフガニスタンでもモデルとされました。2014年には「世界かんがい施設遺産」にも登録されました。また、山田堰から取水している堀川用水にある三連水車は、豪雨災害により土砂や流木が堆積し、一時機能不全に陥りましたが、地域住民の方々の協力により復旧し、農村地域の灌漑を行っています。

モデルコース



【料金】

2万円(10人まで)

※税込み価格です。

※11人以上の場合、一人当たり300円の追加料金をいただきます。

※バス料金は含まれません。

※農家民泊や農業体験のほか、筑前町立大刀洗平和記念館を巡る平和学習を組み込んだプログラムも実施可能です。

※コースや人数につきましては、協議の上決定いたします。

不明な点等ございましたら、お気軽に御相談ください。

【問合せ先】

朝倉グリーンツーリズム協議会

T E L : 0946-24-6758

E-mail : info@asakura-gt.com

